



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

赤十字NEWS

in TOKUSHIMA ニュース in 徳島

日本赤十字社徳島県支部
徳島市庄町三丁目12番地1
TEL.088-631-6000
FAX.088-631-6100
<https://www.jrc.or.jp/chapter/tokushima/>

Vol.46
2022.12



●赤十字要配慮者用段ボールベッドの設置訓練を行う地域赤十字奉仕団(阿波市地区での引渡式)



●三好市地区での引渡式

災害に強い「地域づくり」に役立てて！ 被災者の心に寄り添う段ボールベッドを地域に配備

日本赤十字社徳島県支部では、南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備え、皆様から寄せられる赤十字活動支援費を原資として、災害救護体制の強化をはじめ、地域への災害用移動炊飯器や災害時活動用テント等の設置を通して、災害に強い地域づくりへの支援を行っています。

特に、大規模災害時においては、迅速な避難所の生活環境整備が、避難者の健康維持と早期の生活再建に繋がることから、当支部では、これまでの救護活動の経験を踏まえ、災害時に特に支援が必要な「要配慮者」と「乳児」に特化した徳島県支部オリジナルの段ボールベッドを開発

し、市町村(地区・分区)への配備を進めています。昨年度は、「南海トラフ巨大地震で津波が想定される沿岸部や孤立が想定される山間部の市町村に配備を行い、今年度は特に「中央構造線・活断層地震」でも甚大な被害が想定される吉野川流域沿いの市町を中心に配備を進めています。防災月間である9月6日、三好市での引渡式を皮切りに

日本赤十字社徳島県支部では、南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備え、皆様から寄せられる赤十字活動支援費を原資として、災害救護体制の強化をはじめ、地域への災害用移動炊飯器や災害時活動用テント等の設置を通して、災害に強い地域づくりへの支援を行っています。

特に、大規模災害時においては、迅速な避難所の生活環境整備が、避難者の健康維持と早期の生活再建に繋がることから、当支部では、これまでの救護活動の経験を踏まえ、災害時に特に支援が必要な「要配慮者」と「乳児」に特化した徳島県支部オリジナルの段ボールベッドを開発

し、市町村(地区・分区)への配備を進めています。昨年度は、「南海トラフ巨大地震で津波が想定される沿岸部や孤立が想定される山間部の市町村に配備を行い、今年度は特に「中央構造線・活断層地震」でも甚大な被害が想定される吉野川流域沿いの市町を中心に配備を進めています。防災月間である9月6日、三好市での引渡式を皮切りに

要配慮者用段ボールベッドの特徴

- 座って安心! しっかり背もたれ
- スツと立てる! ほどよい高さの持ち手
- ちょっとがうれしい! 小物置き
- 整理整頓! 収納スペース(下面)

乳児用段ボールベッドの特徴

- 衛生面で安心! 床からの高さ
- しっかりガード! 転落防止の囲い
- パパママ安心! 見守り小窓
- 小物をまとめて! 収納スペース(下面)

要所・細部に工夫を凝らした 赤十字徳島「オリジナル」段ボールベッド



[要配慮者用]

[乳児用]

「いざ」という時に役立つ地域の赤十字災害・緊急対応器材

災害用移動炊飯器

温かい、栄養ある食事の提供に。体も心も温めてくれる大釜を、県内に216基設置しています。



赤十字AED

突然の心停止傷病者を1人でも救いたい。赤十字AEDは県内76箇所に設置しています。



災害時活動用テント

災害時の活動拠点や各種活動に。平時は防災訓練などに。県内に83張を配備しています。



本年度の配備事業を開始。当支部では、こうした活動を通じて被災者に強い地域づくりへの支援を行うとともに、災害時には被災者に寄り添った赤十字活動が展開できるよう、これからも災害対応力の強化に努めて参ります。

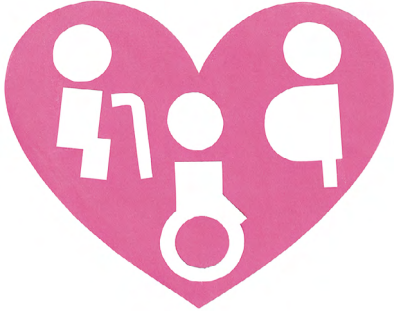
青少年赤十字創設100周年記念事業として、次代を担う青少年が「優しさ」や「思いやり」をテーマにした作品制作を通して、他者を思いやり、支え合うことの大切さ、命の大切さなど「人道」について考えていただく機会にすることを目的として、ピクトグラムの作品コンクールを実施しました。小学生から高校生までの児童・生徒から、計72校、1,269作品のご応募をいただき、厳正な審査の結果、次のとおり入賞作品が決定いたしました。

[中学校の部] 応募数 19校・802作品

最優秀賞

吉野川市立鴨島第一中学校
池光 一輝 さん(1年)

「みんなの思いやり」のピクトグラム

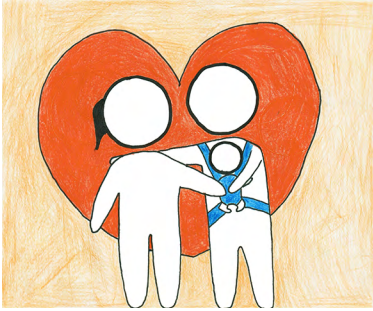


【作者のコメント】 この作品は、お年寄りや、車いすの人や、にんぶさんなど、いろいろな人にも、平等に大切にということで、このピクトグラムを作りました。お年寄り、車いすの人、にんぶさんなどのたくさんの人々をつつみこんでいる大きなハートは、みんなの思いやりの心をイメージしました。みんな幸せになってほしいです。

優秀賞

徳島市城西中学校
大寺 渚生 さん(1年)

「子育て」のピクトグラム



【作者のコメント】 このごろ、テレビで育児のことにについてやっていたのを見ました。お母さんばかりが子育てをするのではなく、お父さんも育児をとって子育てをしようという内容をニュースで聞いたので、この絵を思いつきました。この絵は、女性にとつての男性の思いやりだと思っています。

入選

徳島県立城ノ内中等教育学校
岡田 奈々 さん(2年)

「高齢者への思いやり」のピクトグラム



【作者のコメント】 私には祖母がいますが、高齢のため歩くのに杖を必要としています。一人でも歩くことはできますが、寄り添ってあげることによって、安心して歩けることができます。私たちの周りには、歩行が困難な高齢者がたくさんいます。常に思いやりの気持ちを持って接していくことが大切だと思い、このピクトグラムを作りました。

入選

徳島市城西中学校
森 由依奈 さん(1年)

「協力する世界」のピクトグラム

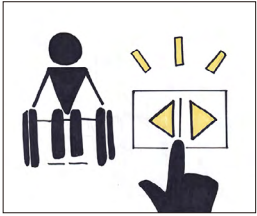


【作者のコメント】 きっかけは、コロナやウクライナへのロシアの侵攻により、世界全体が混乱している今、大切なのは協力し合う心だと思ったからです。この作品に込めた思いは、ハートの中にある握手という「協力」を世界全体で統一させるということと、ハートは白のため、人の住む陸も白色にすることで、協力する心が広がってほしいという思いを込めました。

入選

徳島市城西中学校
尾形 萌々菜 さん(1年)

「待つという優しさ」のピクトグラム



【作者のコメント】 私がこの作品に込めた思いは、自分が先に行くのではなく、誰かの為に待ってほしいと思いこの作品を描きました。この作品では、エレベーターに乗ってくる車いすの人に気づいてボタンを押して待っている様子です。この作品のような心遣いができる人が増えていくのを願うと同時に、まずは私が行動に移していきたいと思っています。

[高等学校の部] 応募数 8校・235作品

最優秀賞

徳島県立城南高等学校
貝島 光美 さん(1年)

「思いやりの傘」のピクトグラム



【作者のコメント】 「思いやり」と聞いて頭に浮かんだのは母の学校のことでした。小学生だった私は「晴れているのにどうして傘をさすのか」不思議でした。なぜか尋ねてみると、生徒たちを雨風太陽から守るそうです。傘をさす人と車椅子の人が目を合わせて心を通わせている様子です。二人のあたたかい気持ちや信頼関係を表す為にピンクのハートを描きました。

優秀賞

徳島県立徳島科学技術高等学校
近藤 恋香 さん(3年)

「臓器提供」のピクトグラム



【作者のコメント】 作品を考える上で、私は「思いやり」を表現したいと思いこのピクトグラムを考えました。臓器提供は自分の意思で人を助ける一つの手段であり、誰かの助けになりたいという思いやりがないとできる行為ではありません。なので、思いやりという優しさにびつたりなピクトグラムだと思います。このマークを見て1人でも考えるきっかけになりますように。

入選

徳島県立城南高等学校
末崎 博一 さん(1年)

「共助」のピクトグラム

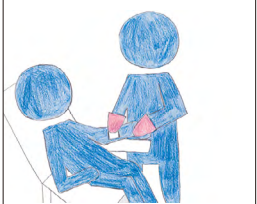


【作者のコメント】 城南高校の近くには、高齢者や障がい者の人達のための押しボタン信号があります。ですが正直そういった人たちにとって、一人で渡るのは難しかったり、こわかったりするかと思います。だからそばにいる人が、そういった人達といっしょに渡ってあげれば良いなと思い、この作品を作りました。また、愛情や優しさを表すためにピンク色を使いました。

入選

徳島県立徳島科学技術高等学校
福田 有里 さん(2年)

「献血」のピクトグラム



【作者のコメント】 私は、誰かのために自分の血液を提供する献血に「やさしさ」や「思いやり」を感じたので、このピクトグラムにしました。この行動は優しくてあたたかいことだと思ったので、体の色をちょっと明るめの青にしました。このピクトグラムを見てくれた人が、「私も誰かのために献血してみようかな。」と思えるといいなと思いながら描きました。

大丈夫ですか、
おうちの中の安全対策!?

防災グッズを備える、安否確認方法を家族や大切な人と決める、自分の住む地域にどんな危険があるのかを知るなど、日頃からの災害への備えは、自分と大切な人を守ることに繋がります。

危険は家の中にも潜んでいます。あなたのおうちの家具は固定されていますか?今一度、安全対策を家族で話し合ってみましょう。

災害時の、おうちの中の危険性を
動画やマンガで分かりやすく伝えています



詳細はこちら



命のラインをオンラインで結ぶ
～赤十字オンライン救命講習を開催～

新型コロナウイルス感染症拡大や夏休み前の学校からの重複する講習ニーズに対応するため、オンラインによる救命講習を5月から7月にかけて計7回実施し、生徒や教職員など18校から378名が参加しました。

一次救命処置(心肺蘇生とAED)の講義と実技を交えながら、参加者は人体の胸部に見立てたペットボトルを活用した心肺蘇生訓練を通して、感染防止を図りながら効果的に命を救う手順を習得しました。



●一次救命処置に加え、月ごとにテーマを変えて気道異物除去や水の事故防止、熱中症対策についても確認しました

災害に強い“地域づくり”を目指して
～赤十字奉仕団が、子どもたちと炊き出し訓練～

8月25日、徳島市地区赤十字奉仕団応神分団の炊き出し訓練が実施され、小学生や子どもたちを見守る児童館の指導員など約40名が参加しました。

子どもたちは、災害用移動炊飯器の組み立て手順や災害用炊飯袋を使った炊き出し方法などを奉仕団員から学んだあと、炊飯袋にお米と水を入れて非常食作りに挑戦。小学生からは「今回学んだ炊飯袋で、災害時には非常食を作りたい」といった頼もしい声が聞かれました。



●赤十字奉仕団員とともに災害用炊飯袋(ハイゼックス)にお米と水を入れて炊き出しの準備を行う子どもたち



～青少年赤十字創設100周年記念～

「みんなで作ろう! 優しさの作品」コンクール 入賞作品が決定!

【小学校低学年の部(1～3年生)】 応募数 22校・33作品

最優秀賞

徳島市加茂名小学校
住友 正宗 さん(2年)

「みんなの命を守ろう」のピクトグラム

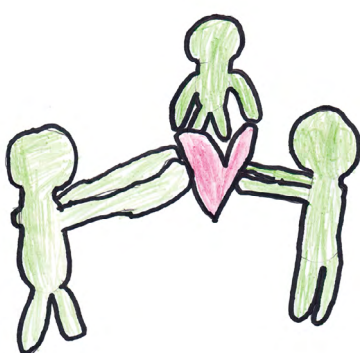


【作者のコメント】 ぼくのいえには、赤ちゃんがいます。ニュースで、赤ちゃんがぎゃくたいされて、しんでしまったことをしました。ぼくは、赤ちゃんはかわいいのに、なんだろうとおもいました。赤ちゃんや、みんなのいのちをたいせつにしないといけないと思ってかきました。

優秀賞

石井町浦庄小学校
松長 想士 さん(3年)

「ささえあい」のピクトグラム



【作者のコメント】 このピクトグラムを考えたきっかけは、命はまもられていることを表したかったからです。人は生まれてから死ぬまで一人ではなく、たくさんの人に助けられて生きています。どんなときもまわりの人のやさしさを忘れずにいたいと思う気持ちが大事だからです。

入選

鳴門市撫養小学校
村越 眺佳 さん(3年)

「やさしさ」のピクトグラム



【作者のコメント】 わたしが、この作品にこめたねがいは、世界平和です。みんな一人一人が温かいハート(心)を持っています。その心を大切に思う気持ちがあれば、自分の事も人の事も大切にできると思います。そうすれば、人と人とのあらしも、国と国とのあらしもなくなり、世界平和につながるのだと思いました。

入選

北島町立北島南小学校
高田 もえ さん(2年)

「みんなが手と手を取りあってたすけあう」のピクトグラム



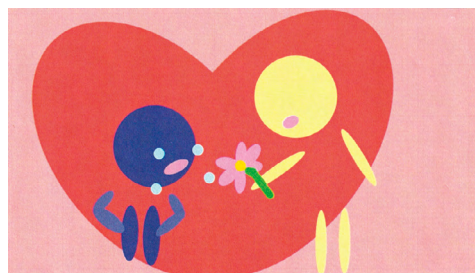
【作者のコメント】 人がしあわせと、おもえるように、たすけあえることがとうぜんだったら、人と人のたすけがだれかをボカボカにできて、いつかたすけてもらった人に、じぶんからたすけあえたいいなとおもいました。そしたらがんばった人からボカボカがうまれてくるのかなとおもいました。

【小学校高学年の部(4～6年生)】 応募数 23校・199作品

最優秀賞

阿南市立中野島小学校
柴田 あやめ さん(6年)

「だいじょうぶ?」のピクトグラム



【作者のコメント】 私が、この作品を考えたきっかけは、いじめです。いじめは簡単に人を傷つける行動です。だから、いじめをなくしたいという思いからこの作品を考えました。いじめだけでなく、事故や災害で1人ぼっちになった人たちに、1人じゃないよということを伝えたいという思いもこの作品に込めました。この作品の思いがこれを見た人に伝わるということです。

優秀賞

阿南市立中野島小学校
笠原 颯磨 さん(6年)

「点字ブロック」のピクトグラム



【作者のコメント】 ぼくは、買い物に行ったときに点字ブロックが気になったので、調べてみました。点字ブロックは地域のさまざまな場所にあり、上に自転車を置いたり、座ったりしてはいけないという大切な決まりがあります。点字ブロックを必要としている人が、安心して町で暮らせるように、たくさんの人にこの大切さを伝えていきたいです。

入選

阿南市立見能林小学校
原田 七織 さん(4年)

「やさしさのわ」のピクトグラム

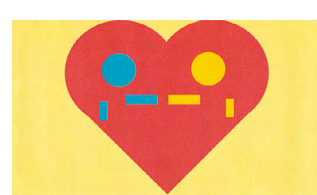


【作者のコメント】 いじめられている子にも、悲しいではなく、あたたかさを感じたいです。もし、いじめなどうけている子がいたら、やさしさがあるから、「おちついてね」という気持ちをこめています。少しでもやさしさがあふれるように、ハートの形をしたものがつながり、心のわができています。つながるともっとやさしくなるという気持ちをこめました。

入選

阿南市立中野島小学校
湯浅 絢香 さん(6年)

「思いやり」のピクトグラム

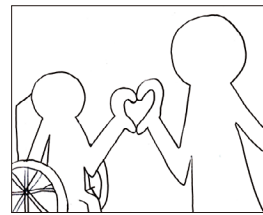


【作者のコメント】 1人でさみしそうにしている子を見て、「いっしょに遊ぼう」と声をかけているところをピクトグラムにしました。私も1人でいたら友達に「いっしょに遊ぼう」と声をかけてもらったことがあります。その時のうれしさは、今でも忘れられません。このピクトグラムでは、声をかけた子の手を、工夫しました。思いやりの心と行動を大切にしたいです。

入選

鳴門市撫養小学校
朝田 詩 さん(6年)

「思いやり」のピクトグラム



【作者のコメント】 私は初めて会った人や、友達と力を合わせて協力して1つの物を作ったときにうれしい気持ちになったことがあります。このピクトグラムには、大きい人や小さい人、障がいのある人やない人など、それぞれが個性を持った人がいて、その個性を活かし、みんなで協力し、また、新たな個性を作り上げてお互いを大切にするという思いを込めました。

さまざまな形で赤十字活動を支援!

～心温まるご寄付をご紹介します～

地域でのチャリティバザーや文化祭での募金活動などで寄せられた皆様の思いを届けていただきました。

● 佐古婦人会 様



地域のイベントに合わせて毎年チャリティバザーを開催しています(累計18回)

● 城ノ内中等教育学校・高等学校 様



生徒が中心となり、文化祭会場に募金箱を設置して協力を呼びかけました

世界で苦しんでいる人々を救うために

～海外たすけあいキャンペーン～

この活動は、日本赤十字社とNHKが毎年12月1日～25日に実施している募金キャンペーンです。

気候変動や長引くコロナ禍、ウクライナ人道危機などの影響により、脆弱な環境下で暮らす人びとの生活は厳しさを増しています。

これからも、世界各地の人道危機から誰も取り残さないよう、地域に根差した支援を届け続けますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



● ウクライナで避難者に救援物資を配付する赤十字スタッフ



オンラインで、高校生がリーダーシップなどを学ぶ

8月22日、高校生を対象とした「リーダーシップ・トレーニング・センター」を新型コロナウイルス感染拡大のため初めてオンライン形式で開催しました。

高校生は、赤十字や青少年赤十字、国際人道法について学習するとともに、救急法や炊き出し、非常持ち出し品の防災学習なども実施。「気づき、考え、実行する」JRCの態度目標や先を見通し行動する「先見」、リーダーシップなどを学び、自主・自立の精神を身に付けました。



● 異なる学校間での交流を図りながら、気づき、考え、実行する力を育んでいます



人間を救うのは、人間だ。

日本赤十字社 スローガン

★徳島ヴォルティス×献血キャンペーン★

10月1日、J2リーグ第39節 徳島ヴォルティス対FC町田ゼルビアの試合が行われた鳴門・大塚スポーツパーク ポカリスウェットスタジアムで献血キャンペーンを実施しました。

多くのサポーターで賑わうスタジアム入り口前のヴォルティス広場に献血バスを配置。学生ボランティアと徳島県庁職員が献血の協力を呼びかけました。献血ができた方には、徳島ヴォルティスの選手のサ

イン色紙がプレゼントされ、サイン色紙を手にしたサポーターは、「久しぶりに献血をしました。選手のサイン色紙をもらうことができ嬉しいです!」と声を弾ませていました。

徳島県赤十字血液センターでは、新型コロナ感染防止対策に取り組みながら、様々なイベントにおいて献血キャンペーンが再開できるよう、献血協力団体と連携してまいります。



献血を終えたサポーター

ラブラッドとは

ラブラッドは日本赤十字社と献血者をつなぐ、Web会員サービスです。
Webサイト・アプリ、どちらからでも献血の予約、事前の問診回答などが可能になりました。
献血会場での混雑の回避、滞在時間の短縮、接触機会の削減ができるので、
安心して安全、より手軽に献血協力ができます。

スマホアプリ版が
はじまりました!



ラブラッドアプリは、
こちらからダウンロードください。



※ Apple および Apple ロゴは米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
※ App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
※ Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

献血予約

Webサイト・アプリから献血予約が可能!
当日予約 (3時間前)*もできるので、お近くの献血会場を選択して、手軽に献血できます。

※献血会場によっては当日予約できない場合があります。



事前問診回答

これまで献血会場でしかできなかった問診回答がWebサイト・アプリからできるようになりました。



血液検査の確認

ご自身の献血記録をいつでも確認することができます。



会員特典

ご協力いただいた献血種類に応じて、献血ポイントがたまります。また献血予約することで予約ポイントも付与されます。それらはオリジナル記念品と交換が可能です。その他、イベントやキャンペーン情報のご案内や、便利な機能を多数備えています。



献血のご協力はこちら

◆献血ルーム アミコのご案内

●受付時間

9:30~13:00

14:00~17:00

(成分献血は16:00まで)

※アミコ専門店の開店前及び休館時は、3Fシビックセンター広場入口か1F郵便局横入口をご利用ください。

●定休日:毎月第1・3火曜日

※悪天候時には臨時休業させていただく場合がありますので、お問い合わせください。

●住所:徳島市元町1-24 アミコビル3F

(JR徳島駅前)

●電話番号:0120-688-950

●右の①~④の駐車場をご利用ください。



献血中も
TV視聴



Free-WiFi
あります



充実の
フリードリンク

◆献血バス

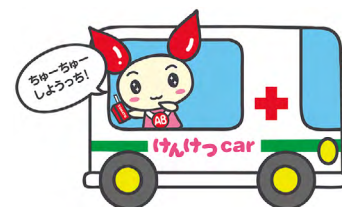
●徳島県内を巡回中の献血バスで、

ご協力いただけます。(400mL献血のみ)

●電話番号:0120-688-994

●献血バスの日程は、徳島県赤十字血液センターホームページでご案内しています。

献血バスの運行スケジュールは
ホームページ内のこちらで確認できます。



●日本赤十字社徳島県支部管内の赤十字施設をご案内します●

日本赤十字社徳島県支部事務局 徳島市庄町三丁目12-1 TEL.088-631-6000
徳島赤十字ひのみね総合療育センター 小松島市中田町字新開4-1 TEL.0885-32-0903
徳島赤十字障がい者支援施設ひのみね 小松島市中田町字新開4-1 TEL.0885-32-0903

徳島赤十字乳児院 小松島市中田町字新開2-2 TEL.0885-32-0555
徳島赤十字病院 小松島市小松島町字井利ノ口103番 TEL.0885-32-2555
徳島県赤十字血液センター 徳島市庄町三丁目12-1 TEL.088-631-3200